



平成 30 年 10 月 12 日

各 位

会 社 名 ネ オ ス 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 池 田 昌 史  
(コード番号: 3 6 2 7 東証第 1 部)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 黒 尾 哲 雄  
(TEL. 03-5209-1590)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 4 月 13 日に公表いたしました平成 31 年 2 月期（平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

平成 31 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 3 月 1 日～平成 31 年 2 月 28 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 6,400	百万円 50	百万円 40	百万円 30	円 銭 3.36
今 回 修 正 予 想 (B)	7,200	400	400	400	42.24
増 減 額 (B-A)	800	350	360	370	—
増 減 率 (%)	12.5	700.0	900.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 2 月期)	4,946	△323	△431	△646	△72.39

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間における業績は、通信キャリアやメディア企業、メディカル／ヘルスケア、保険／金融等の様々な業種におけるネットサービスを支援するソリューション事業と 2018 年 3 月末に連結子会社化した株式会社ジェネシスホールディングスが営むデバイス事業の売上が好調に推移いたしました。加えて、昨年度来取り組んできた費用効率化により販管費が大幅に低減した結果、営業利益が拡大いたしました。

今年度下半期においては、デバイス事業において IoT デバイスの増産が見込まれており、更なる売上拡大が予想されますが、現時点におけるソリューション事業の受注が一部未確定なこと、デバイス事業における生産体制強化や AI、IoT 関連の自社プロダクト&サービスへの開発、販売投資の拡充によ

る費用増加等の可能性も勘案し、現時点における平成31年2月期通期連結業績予想として、上記の通り予想数値を修正いたします。

なお、当社グループが営む事業は先端かつ新規市場分野に属するものが多く、事業環境の変動が大きく見通しが困難なため、今後の動向に応じて業績修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

以上